第６２回全国内水面漁業振興大会

今回提案された７議案

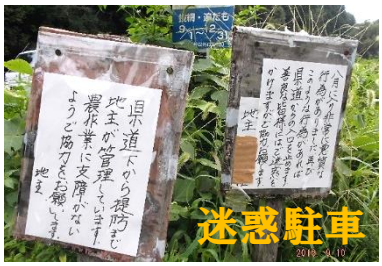
① 漁協の基盤の強化
② 川や釣りに関する学ぶ機会の創設
③ 漁業救済制度の創設
④ 正組合員資格の緩和
⑤ 災害復旧事業における河川環境への配慮
⑥ 土砂管理に配慮したダム下流の漁場環境再生
⑦ 内水面漁業における救済制度

全国内水面漁連主催のもと、国会議員や４２都府県に所在する漁協関係者が集まる全国大会が１０月２９日、日本消防会館（東京都）にて開かれました。この大会では昨年提案された８議案の処理状況報告と本年度提案された７議案の審議が行われ、大会宣言とともにいずれも採択されました。特に「漁場環境の再生と保存」、「アユ冷水病対策の推進」、「カワウ被害防止対策の補助率の定額化」、「ダムの運用見直し」については当組合と関係が深く、本大会で示された内容を参考に当組合が抱える各種課題への対応を実施することを改めて認識しました。

来年の全国大会は、静岡県での開催が予定されています。（村上）

清流 伊久美川の河川利用を考える

「モリ突き全面禁止」を追加しました

11 月 26 日、『伊久身改善センターやまびこ』にて伊久美地区の代表者と河川利用や管理をテーマに意見交換を行いました。

大井川の不漁により漁場として重要さを増す伊久美川は、夏場になると釣り人のほか、たくさんのキャンプ客やバーベキューなどで賑わいます。その一方、一部の心無い利用者による放置ゴミ（河川の汚染）やキャンプ客による夜間密漁、川遊びに伴うモリ突き、駐車場不足による迷惑駐車など課題も見られています。シーズン中は当組合漁場監視員のほか、地元住民による河川監視員（釣り以外が対象）が巡回しているとのことですので、地元と連携して問題解決を考え、伊久美川の良さを残していきたいと思います。